

# 平成 22 年度事業報告

平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日

## I. 事業の状況

### 1. 定期講演会の実施

定期講演会については、本年度は以下のように実施した。

・会場	全国 8 カ所
・開催回数	71 回
・来場者総計	2,489 名
・収入	1,483 千円
・支出	12,873 千円

定期講演会 8 会場の詳細は次のとおり。

①東京会場（原則として毎月第 2 及び第 4 土曜日  
午前 10 時より大手町ビル 513 号室）

・実施回数	19 回
・来場者	1,435 名

（以下敬称を略します）

4 月 10 日 丘山新

「であい」について

4 月 24 日 福田亮成

真言宗の本尊さま

5 月 8 日 三輪真純

如是我聞「なぜ今、良寛と賢治なのか」

5 月 22 日 佐々木宏幹

日本人の「夢」と宗教—無常観に関連づけて

6 月 12 日 菅沼晃

明治期の新仏教運動に学ぶこと

7 月 10 日 西田正法

慈は無瞋なり 悲は不害なり—慈悲について考える—

7 月 24 日 菅原伸郎

如来は感動である

9 月 11 日 竹村牧男

井上円了における仏教と哲学

9 月 25 日 近田昭夫

なぜ、仏法聴聞が大切なのでしょう

10 月 9 日 馬場昭道

仏縁を通しての出遇い

10 月 23 日 金光寿郎

信じるということ

11 月 13 日 奈良康明

釈尊「六年苦行」をめぐる～自我からの自由

11 月 27 日 西來武治

ホスピス・ビハーラと在宅ケア

12 月 11 日 島藺進

悲しみから生まれる力

1 月 8 日 石上善應

私の法然上人

1 月 22 日 杉谷義純

草木成仏を考える

2 月 12 日 本多静芳

信心の生活～「仏壇の論理」と「台所の論理」～

2 月 26 日 池田魯參

生死は即ち涅槃ということ

3 月 12 日

東北太平洋沖地震の影響により中止

3 月 26 日 田上太秀

「おかげさま」のこころ

②大阪会場（原則として毎月第 4 金曜日午後 3 時  
より堂島アバンザ 14 階）

・実施回数 10 回

・来場者 357 名

4 月 23 日 奈倉道隆

自燈明・法燈明—現代を生きる智慧と慈悲—

5 月 28 日 水谷幸正

浄仏国土成就衆生

6 月 25 日 西山厚

公慶上人—江戸時代の大仏復興—

7 月 23 日 真城義麿

現代の閉塞と仏教

9 月 24 日 中西智海

往くも還るも仏力である

10月22日 池見澄隆

浄土再会

11月26日 小林隆彰

比叡山と織田信長の焼き討ち

1月28日 幹栄盛

仏教伝来と聖徳太子一鶴林寺聖徳太子絵伝より

2月25日 山田法胤

お釈迦さまの生涯（後編）

3月25日 信楽峻麿

どうしたら信心を開発できるか一廻心体験の成立構造一

③名古屋会場（原則として毎月第3水曜日午後1時30分よりCRD丸の内ビル9階）

・実施回数 10回

・来場者 244名

4月21日 亀井鑛

念仏一道 世界は兄弟

5月19日 松平實胤

人生は方便なり

6月16日 乗元恵三

比較老人学一東と西一

7月21日 衣斐弘行

金閣寺異聞

9月15日 赤池憲昭

心の行方

10月20日 西川玄苔

大悲のリズム

11月17日 田辺和子

タイの仏教

1月19日 立川武蔵

「般若心経」について

2月16日 上沼雅龍

しあわせの「はひふへほ」

3月16日 林淳

妖怪博士と仏教一井上円了

④福岡会場（原則として毎月第4金曜日午後3時より福岡センタービル9階）

・実施回数 10回

・来場者 198名

4月23日 村上大朗

いのちの闇

5月28日 菊城淳真

仏教の看取り

6月25日 田村圓澄

仏教と仏教史のはざままで

7月23日 小山一行

出離生死の道

9月24日 神原玄應

伝教大師様のお言葉

10月22日 藤岡正英

念仏の功德

11月26日 大江憲成

望まれずして生まれし者の救い・阿闍世

1月28日 田畑正久

念仏はなぜ難信なのか

2月25日 太田心海

如来、今われと共にあり

3月25日 村上大朗

ひとりであるがひとりではない

⑤防府会場（原則として毎月第2水曜日午後1時30分より防府とくちJ A会館ほか）

・実施回数 8回

・来場者 87名

4月14日 中村棟俊

生涯学習を考える

5月12日 小林正純

仏陀最後の教え

6月9日 波佐間正己

離僧離俗の足利浄円師

7月14日 一万田良哲

やすらぎの生活を！あらためて在家仏教

9月8日 森江俊孝

「愛語のこころ」を学ぶ

10月6日 有福孝岳

釈尊最後の説法一八つの大人の自覚

11月16日 岩田啓靖

義隆・異雪問答一大内家終焉の風景

3月9日 児玉識・島田教明

種田山頭火と仏教

⑥宇部会場（原則として隔月第2金曜日午後1時  
30分より宇部市文化会館ほか）

- ・実施回数 5回
- ・来場者 67名

5月14日 波佐間正己

離僧離俗の足利浄円師

7月9日 木村隆徳

住職の独り言

9月10日 児玉識・島田教明

行く教えと帰る教え

11月12日 一万田良哲

自分が変わる力に遇う・・・納得、安心と・・・

3月11日 松原徹心

お彼岸会と坐禅について

⑦札幌会場（原則として隔月第3金曜日午後3時  
より札幌パークフロントビル4階）

- ・実施回数 5回
- ・来場者 62名

5月21日 石飛道子

経典の読み方

7月16日 高畑俊孝

仏の利益と功德

9月17日 金石晃陽

五濁の世、無仏の時の仏法

11月19日 藤井教公

中世における神仏習合一明恵上人の場合一

3月18日 石飛道子

幻のごとく化（け）のごとく

⑧仙台会場（原則として3カ月毎第2金曜日午後  
2時より仙台橋本ビル9階）

- ・実施回数 4回
- ・来場者 39名

4月9日 高橋哲秋

仏様を行う一行持報恩一

7月9日 佐々木邦世

「あの方のその一言」一仏性は信にはじまる一

10月8日 華園聰磨

妙好人に学ぶ

1月14日 丸田善明

荒野に立つ

## 2. 各種行事の実施

各種行事については、本年度は下記の行事を実施した。

### 在家仏教坐禅の会

平成22年10月26日

曹洞宗大本山總持寺。参加者31名。

## 3. 出版物の刊行

出版物の刊行については、本年度は以下のよう  
に実施した。

・収入	16,657千円
・支出	34,000千円

### ①月刊誌『在家佛教』

毎月1回発行、A5判100頁

#### ▼平成22年4月号

アート「世界遺産アソールワット展」山梨県立博物館

日本スピリチュアルケア学会の誕生/日野原重明

なぜ日本人は葬儀で泣かないのか/秋田光彦

真実との出遭い/谷川理宣

対立を超えるために/菅沼晃

仏教文化のダイナミズム/佐々木宏幹

素直に甘えられない子どもたち/富田富士也

いのちのほほえみ ばら/野呂昶

端坐の正門/菅原伸郎

話題の阿弥陀仏像/石上善應

ブツ最後の旅をたどる (13) 自灯明・法灯明の教え/奈良康明

仏教ボランティアの現場から (16) 仏教・看取り・遺族ケア/大菅俊幸

俱律究 (17) 仏教を学ぶ2010/神田忠

加藤辨三郎・言葉抄

今月の表紙・ブツ最後の旅路/内藤喜八郎

おぼえよう となえよう

## ▼平成 22 年 5 月号

アート「大遣唐使展」奈良国立博物館  
「花まつりカード」の 20 年/奈良康明  
縁起説と三つ子の魂/小倉玄照  
五十六億七千万年も待たずとも/林田康順  
生かされて生きる力/松平實胤  
わかるということ（前編）/金光寿郎  
真実の宗教/太田心海  
環境問題は、いのちを豊かにできるか？/稲垣諭  
いのちのほほえみ どくだみ/野呂昶  
東大寺三月堂/石上善應  
読経と携帯/菅原伸郎  
ブッダ最後の旅をたどる（14）現世への告別の言葉/奈良康明  
俱律究〈18〉仏教の旅、坐禅体験/神田忠  
加藤辨三郎・言葉抄  
今月の表紙・ガンジスをゆく舟/内藤喜八郎  
おぼえよう となえよう

## ▼平成 22 年 6 月号

アート「移動する仏像展」和歌山県立博物館  
偶然・必然・自然/常盤井鸞猷  
本当のものとは/金嶽宗信  
わたしはどんなときに泣くか/定方晟  
三願転入/高史明  
わかるということ（後編）/金光寿郎  
信心をとりて礼にせよ/金石晃陽  
いのちのほほえみ 半夏生/野呂昶  
ユタに習う/菅原伸郎  
盧舎那仏/石上善應  
ブッダ最後の旅をたどる（15）任意捨命/奈良康明  
俱律究〈19〉「スマートフォン」で何だろう？/神田忠  
加藤辨三郎・言葉抄  
今月の表紙・インドの大河/内藤喜八郎  
おぼえよう となえよう

## ▼平成 22 年 7 月号

アート「親鸞展」全国 28 ヶ所巡回  
木魚/中村文峰  
人生は今ここ自分から始まる/霊元丈法  
近世仏教再発見/末木文美士  
人生の完結期に臨む医療と仏教/奈倉道隆  
電話相談にみる「生老病死」/西來武治  
日本の美について/栞野俊明  
四季の仏教行事 迎講一大念佛寺/黒川文字子  
アーカイブス 業について/増谷文雄  
大遣唐使展/石上善應

僧侶と妻帯/菅原伸郎

いのちのほほえみ はなしょうぶ/野呂昶  
ブッダ最後の旅をたどる（16）釈尊の入滅宣言/奈良康明  
俱律究〈20〉Ustream, Twitter, Facebook/神田忠  
加藤辨三郎・言葉抄  
今月の表紙・ブッダの最期のことば/内藤喜八郎  
おぼえよう となえよう

## ▼平成 22 年 8 月号

アート「いのりのかたち 八十一尊曼荼羅と仏教美術の名品」根津美術館  
私だけの遍路・巡礼/頼富本宏  
死にぎわからの進一歩/中島教之  
「よびかけること」と「聞くこと」/早島大英  
ブッダから阿弥陀仏へ/立川武蔵  
仏教的〈悲嘆のケア〉/衣斐弘行  
アーカイブス 宿業/増谷文雄  
いのちのほほえみ つゆくさ/野呂昶  
裁判員制度/菅原伸郎  
香川の観音菩薩/石上善應  
ブッダ最後の旅をたどる（17）アーナンダの懇請/奈良康明  
俱律究〈21〉テクノロジーが変える出版の世界/神田忠  
加藤辨三郎・言葉抄  
今月の表紙・鶴のむれ/内藤喜八郎  
おぼえよう となえよう

## ▼平成 22 年 9 月号

アート「奈良の古寺と仏像展」三井記念美術館  
縁起するいのち/小川一乗  
三性の理を活かした創造/森政弘  
「生苦」を考える/志慶眞文雄  
行ずる者から聞く者へ/大江憲成  
信心ということ/藤田徹文・金光寿郎  
「科学と仏教の接点」を求めて/佐々木閑  
在家主義仏教の可能性/保坂俊司  
アーカイブス はたらく/加藤辨三郎  
いのちのほほえみ なすび/野呂昶  
東京の巷間で仏像を/石上善應  
対話の効用/菅原伸郎  
ブッダ最後の旅をたどる（18）入滅の予告/奈良康明  
俱律究〈22〉仏教専門書店/神田忠  
今月の表紙・この地上/内藤喜八郎  
おぼえよう となえよう

## ▼平成 22 年 10 月号

アート「欣求浄土〜ヒューランドを求めて」大倉集古館  
人を責める/松長有慶  
”みんなぼっち”と”いのちのにぎわい”/亀山純生

生命と仏教/能勢隆之  
十界互具/小林隆彰  
仏教と非暴力主義/島菌進  
スリランカ旅行記/稲葉州治  
アーカイブス 教法の宗体/金子大榮  
即非の論理/菅原伸郎  
お寺の変遷/石上善應  
いのちのほほえみ キャベツ/野呂昶  
ブッダ最後の旅をたどる (19) ゲーサーリ市との別れ/奈良康明  
俱律究 (23) 再び注目されるメルマガジン/神田忠  
加藤辨三郎・言葉抄  
今月の表紙・バーミヤーン/内藤喜八郎  
おぼえよう となえよう

#### ▼平成 22 年 11 月号

アート「仙厓一禅とユモア」出光美術館  
懈慢界 (けまんがい) /豊原大成  
命のバトンタッチ/池田雅之  
共感、共生の原事実へ/中島志郎  
ゆだねる心/田上太秀  
四季の仏教行事 大津の盆船流し/黒川文字  
漱石と良寛(1) イト哲学までも含む漱石文学の多様性/安田未知夫  
アーカイブス 念仏三昧/玉城康四郎  
いのちのほほえみ あざみ/野呂昶  
小論文から/菅原伸郎  
ブッダ最後の旅をたどる (20) 人に抛らず、法に抛れ/奈良康明  
俱律究 (24) 仏事に関する疑問・質問を解決する/神田忠

仏教ボランティアの現場から (17) 青年僧が立ち上げた現代版寺子屋/大菅俊幸  
加藤辨三郎・言葉抄  
今月の表紙・ラオスの暮らし/内藤喜八郎  
おぼえよう となえよう

#### ▼平成 22 年 12 月号

アート「高僧と袈裟 ころもを伝え ころもを繋ぐ」京都国立博物館  
「信心」ということについて/西村恵信  
健康の霊的側面について/上野圭一  
タイのエコロジー・ブームと仏教/山下博司  
「愛語」に思う/木村清孝  
仏教の環境観/竹村牧男  
いのちのほほえみ 案山子/野呂昶  
イスラーム/菅原伸郎  
ブッダ最後の旅をたどる (21) 鍛冶工チュンダの最後の供養  
/奈良康明  
俱律究 (25) 宗門、団体、メディアのサイトの動き  
/神田忠  
漱石と良寛(2) 誰が漱石に良寛をすすめたか/安田未知夫

アート「東大寺大仏」  
加藤辨三郎・言葉抄  
今月の表紙・メコンの河畔で/内藤喜八郎  
おぼえよう となえよう

#### ▼平成 23 年 1 月号

アート「棟梁 堂宮大工の世界」産業技術記念館  
信じて救護されて生きる/上田本昌  
「むきずな」人/早坂文明  
人生のものがたり/佐賀枝夏文  
真言宗の本尊さま/福田亮成  
人に子どもに”光”あれ (1) 父親のひと言でつながりを断たれた青年  
/富田富士也  
図書 釈尊のひとつの教えは多様な側面を見せてくださる  
/加藤比呂人  
漱石と良寛(3) 歴史的視点からみた良寛の実像/安田未知夫  
いのちのほほえみ ことりのはっぱ/野呂昶  
土紋のある仏像/石上善應  
地底の祈り/菅原伸郎  
仏教ボランティアの現場から (18) カンボジアの仏教こそ大乘仏教?  
/大菅俊幸  
ブッダ最後の旅をたどる (22) クシナーラーに赴く釈尊/奈良康明  
俱律究 (26) 2010 年総決算/神田忠  
加藤辨三郎・言葉抄  
今月の表紙・メコン河の仏蹟/内藤喜八郎  
おぼえよう となえよう

#### ▼平成 23 年 2 月号

アート「唐招提寺 金堂荘厳」展 多摩美術大学美術館  
念仏三昧は縁起の実践/河波昌  
ダライラマ in ヒロシマ/田中公明  
「在家」についての想い/高田信良  
『観無量寿経』が示すもの/石上善應  
お釈迦さまの生涯 (前編) /山田法胤  
図書 私にとっての「常夜灯」/西來武治  
漱石と良寛(4・終) 則天去私と良寛/安田未知夫  
いのちのほほえみ くちなしの実/野呂昶  
如来の沈黙/菅原伸郎  
人に子どもに”光”あれ (2) 髭のはえた”だだっこ” /富田富士也  
ブッダ最後の旅をたどる (23) プックサとの会話/奈良康明  
俱律究 (27) 年始のお出かけと年賀状のサイト/神田忠  
加藤辨三郎・言葉抄  
今月の表紙・ラオスの仏教聖地/内藤喜八郎  
おぼえよう となえよう

#### ▼平成 23 年 3 月号

アート「運慶-中世密教と鎌倉幕府」 神奈川県立金沢文庫

猫は悩まない/板橋興宗  
思いやりの心/望月真澄  
敬礼する、しない/加藤栄司  
如来は感動である/菅原伸郎  
経典の読み方/石飛道子  
仏教と科学の対話/上田悟  
いのちのほほえみ ふきのとう/野呂和  
人生の決断/石上善應  
人に子どもに”光”あれ(3) 逸脱を試みた”太もも少女”  
/富田富士也  
ブッダ最後の旅をたどる(24) チュンダへの思いやり/奈良康明  
俱律究(28) グルーポン/分冊百科/神田忠  
加藤辨三郎・言葉抄  
今月の表紙・メコンのひびき/内藤喜八郎  
おぼえよう となえよう

#### 4. その他目的を達するために必要な事業

##### ①海外の仏教徒との交流を深め雑誌および図書の交換

韓国文洋法律事務所  
韓国浄土真宗学会  
韓国仏教太古宗  
韓国円光大学  
中国仏教協会  
ブラジル日本文化研究所  
ブラジル天理文庫  
カリフォルニア仏教研究所  
カリフォルニア東本願寺  
シカゴ大学東アジア図書館  
ザ・ワールド・オブ・インディア  
ニューヨーク金剛菩提寺  
ヨーロッパ禅道場  
カナダ禅蓮寺  
ハワイ浄土宗別院

##### ②国公立図書館並びに大学図書館及び刑務所へ 「在家佛教」誌を毎月寄贈

国立国会図書館、東京・京都・奈良・九州の各国立博物館  
東京都・千葉県・神奈川県・埼玉各県の都立、県立、市立の各公立図書館  
東京大学附属図書館、筑波大学、駒澤大学、大正大学、立正大学、東洋大学ほかの大学研究機関  
NHK、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、日本経済新聞、東京新聞、北海道新聞、西日本新聞ほかの報道機関

##### ③仏教良書の推薦紹介

##### ④在家佛教誌から他誌への転載許可

松林宗恵講演録

転載先『まことしやかにさりげなく』

—映画監督松林宗恵の遺言—

田代俊孝講演録

転載先『ひと・ほとけ・いのち—「非科学」のいのち論』

菅原伸郎、金嶽宗信、中島教之 随想

転載先『拔萃のつづり その七十』